

第12回HANDA CUP・プロボウリングマスターズ

12名によるラウンドロビン対戦表

ROUND	49L - 50L	51L - 52L	53L - 54L	57L - 58L	59L - 60L	61L - 62L
1	長谷 宏 VS 梅檀 稔	石原 章夫 VS 高橋 延明	水野 成祐 VS 坪井 実	坂田 重徳 VS 呉竹 博之	大友 仁 VS 西田 久良	酒井 武雄 VS 袖之 昭選手
2	高橋 延明 VS 水野 成祐	坪井 実 VS 梅檀 稔	袖之 昭選手 VS 石原 章夫	大友 仁 VS 酒井 武雄	長谷 宏 VS 坂田 重徳	西田 久良 VS 呉竹 博之
3	大友 仁 VS 石原 章夫	長谷 宏 VS 西田 久良	酒井 武雄 VS 高橋 延明	水野 成祐 VS 袖之 昭選手	呉竹 博之 VS 梅檀 稔	坪井 実 VS 坂田 重徳
4	坂田 重徳 VS 袖之 昭選手	水野 成祐 VS 呉竹 博之	大友 仁 VS 梅檀 稔	西田 久良 VS 高橋 延明	酒井 武雄 VS 坪井 実	長谷 宏 VS 石原 章夫
5	酒井 武雄 VS 呉竹 博之	大友 仁 VS 坂田 重徳	長谷 宏 VS 水野 成祐	坪井 実 VS 石原 章夫	西田 久良 VS 袖之 昭選手	梅檀 稔 VS 高橋 延明
6	西田 久良 VS 坪井 実	酒井 武雄 VS 長谷 宏	石原 章夫 VS 呉竹 博之	袖之 昭選手 VS 梅檀 稔	坂田 重徳 VS 高橋 延明	大友 仁 VS 水野 成祐
7	水野 成祐 VS 坂田 重徳	高橋 延明 VS 袖之 昭選手	梅檀 稔 VS 西田 久良	長谷 宏 VS 大友 仁	坪井 実 VS 呉竹 博之	石原 章夫 VS 酒井 武雄
8	袖之 昭選手 VS 大友 仁	西田 久良 VS 水野 成祐	坂田 重徳 VS 酒井 武雄	高橋 延明 VS 坪井 実	梅檀 稔 VS 石原 章夫	呉竹 博之 VS 長谷 宏
9	坪井 実 VS 長谷 宏	梅檀 稔 VS 酒井 武雄	呉竹 博之 VS 袖之 昭選手	石原 章夫 VS 水野 成祐	高橋 延明 VS 大友 仁	坂田 重徳 VS 西田 久良
10	石原 章夫 VS 西田 久良	呉竹 博之 VS 大友 仁	高橋 延明 VS 長谷 宏	梅檀 稔 VS 坂田 重徳	水野 成祐 VS 酒井 武雄	袖之 昭選手 VS 坪井 実
11	呉竹 博之 VS 高橋 延明	坂田 重徳 VS 石原 章夫	坪井 実 VS 大友 仁	酒井 武雄 VS 西田 久良	袖之 昭選手 VS 長谷 宏	水野 成祐 VS 梅檀 稔
P・M	12位 VS 11位	10位 VS 9位	8位 VS 7位	6位 VS 5位	4位 VS 3位	2位 VS 1位

■ ラウンドロビン方式（総当たりボーナスポイント方式）の説明

今回、予選・準決勝を勝ち抜いてきた上位12名の選手による決勝の競技方法をラウンドロビン方式で行います。

一人の選手が他の11名の選手と1ゲームマッチで、そのつど勝敗を決めていく方法で、ちょうど駒鳥が木々の枝から枝へと飛び廻る姿から、`ラウンドロビン`の名称がつけられたとされています。

この方式は、200点を基準とし、1ピンが1ポイントとして計算されるシステムです。200点を基準に上下のピン差でプラス点・マイナス点が出され、これに定められた勝ち点30ポイント(ボーナスポイント)が勝者に得点されていくものです。

例えば、A選手とB選手が戦い、A選手が220点・B選手が190点でA選手が勝った場合、勝者には定められた30ポイントと200点をオーバーした20ピン(ポイント)が加算され、50ポイントがA選手のポイントとなります。B選手は200点に達しなく、また敗れたので、200マイナス10となり、A選手のプラス50に対してB選手は、マイナス10とその差は大きく開いてしまいます。

またC選手とD選手が戦い、C選手が215点・D選手が220点でD選手が勝った場合、D選手はプラス50、C選手はプラス15となります。

またE選手とF選手が戦い、E選手が198点・F選手が180点でE選手が勝った場合、E選手はプラス28・F選手はマイナス20となります。

尚、同ピンで引き分けの場合は、両者に15ポイントが与えられます。

そして総当たり1回戦11ゲームが終わって、1位と2位・3位と4位というように順位(ポジション)ごとに対戦していくポジションマッチ

1ゲームを行い、**上位4名が決勝ステップラダー**へ進出致します。

このように1ゲーム、1ゲームが大事な勝負となり、A選手は何勝何敗か？ポイントはどのくらい稼いでいるのか？プロの熱い戦いにご期待下さい!!